

なにかと話題になっている「ジャングリア沖縄」に行ってきました

旅の「目的地」というのは、大きく分けると二つに分類されるんじゃないでしょうか？

旅の計画を立てる際の本命の目的地の場合（絶対そこに行きたいという強い思い） 一方、旅先の近くにたまたまその目的地がある場合（成り行き・ついでに） 年に 2 回のお楽しみになっている恒例の同級生との旅行（ゴルフ遠征）で今回ジャングリア沖縄訪れた理由はまさに「後者」 たまたま予約したホテルの近くに「それ」があったから・・・でした。

ジャングリア沖縄は沖縄本島北部に今年 7 月オープンした「大自然を舞台」にしたテーマパークです。広さは約 60 ヘクタール（東京ドーム約 13 個分） その中に大自然を活かした 22 種類ものアトラクションから、リラックスできるスパ、地元食材を使ったレストランもあり、老若男女が楽しめる施設と謳っています。

開園前後は全国のテレビなどで取り上げられるなど「鳴り物入りでデビュー」しました。

しかしその後のネット上の評判は「没入感が高い体験ができる」や「食事が美味しい」など好評価がある一方、「待ち時間が長い」や「野外のため天候に左右される」「PR 用のパンフレットと現実のギャップがある」など批判的な意見が少なくないのも現実です。

私たちが訪れたのはオープンから約 4 か月、11 月中旬の小雨の降る平日でした。傘さし並び開園の 10 時に入場。施設のシンボル「ジャングリアツリー」の下を通り抜けるとまず目に飛び込んでくるのは広大な「やんばるの森」 遠くにはこの施設のランドマークともいえるべき高さ 19 m の首長竜「ブラキオサウルス」が目を引きまします。作り物とわかっていても「楽しんでやろう」という気持ちがあるだけでワクワクしてきます。あとは人気のアトラクションの整理券をゲットするため配布場所へまっしぐら。スタッフに道を尋ねるとおもてなしの心あふれる対応に思わず仲間の顔もほころびます。

ただ・・・紙面の都合上すべてのアトラクションに言及できませんが、目玉のアトラクションともいえるべき、肉食竜から逃げる体験ができると謳った「ダイナソーサファリー」・・・結論から言いますと「恐竜は追いかけてこなかった・・・」 たしかにテレビでもおなじみシーンというべき目の前で隊長が T-REX に喰われたり、恐竜の咆哮を聞きながら疾走する車両に乗って道を抜け池に飛び込んだりすることは普段経験できない衝撃です。同乗していた大阪から来たという幼稚園の女の子は泣いていました。ただ「初代ジュラシックパーク（1993）」の T-REX のシーンの圧倒的な迫力ある映像を経験している私はどうしても「そこまでのもの」を期待してしまいます。仮想と現実・・・現代の技術をもってしてもまだまだその溝を埋めるのは難しいんでしょう。

でも私はジャングリア沖縄に行ってよかったと思っています。「伸びしろ」を感じたから・・・厳しい意見も錯綜する中、他のテーマパークにはない大自然を生かすという世界初の試みはまだ始まったばかり。これから改良を重ねていきその優位さを生かしてば、今後世界中から人が集まるテーマパークに成長する可能性を感じたからです。そしてなんといっても「ジャングリア沖縄に行ったことがある」と人に言えるから・・・どなたかいらっしゃいますか

2025 年 11 月の段階でジャングリア沖縄に行った方・・・。